

取扱説明書

ワンタッチイベントテント
VITABR[®]



**ついに待望の最高に革新的な
テントができあがりました！**

弊社のV2シリーズは最高の安全性基準に基づき設計されています。

SAKURA CORPORATION

<http://www.sakuracorporation.com>

●お問い合わせ、ご用命は…

 **株式会社さくらコーポレーション**
本 社:〒610-0342 京都府京田辺市松井宮田26-1
関東営業所:〒344-0026 埼玉県春日部市武里中野285-4

Printed 201601

このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

またお読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

本品を安全にお使いいただくために、下記の要領を必ずお守りください。

※なお、誤った取扱方法や使用状況、また改造等による破損・損害・事故、および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

● シグナルマークの定義 ●

警告 この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

● 警告ラベルについて ●

本品のフレームには、右図のような警告ラベルが貼り付けられています。警告ラベルの貼り付け箇所を確認し、要項を守ってご使用ください。また、万一警告ラベルが剥がれてしまった場合は、ラベルをご購入いただき、再度貼り付けてください。

警告

フレーム収納時は以下にご注意ください

最後のロックレバーを解除する際はフレームの内側に立たないでください。最後のロックレバーを解除すると、フレームは瞬間的に閉じるため、フレームの内側にいると体を挟まれる可能性があります。くれぐれもご注意ください。

警告 風で飛ばされる恐れあり

警告 手をはさまないように注意

使用条件

● 使用環境 ●

- 警告** ①大雨、強風、突風、雪、雷などの天候不順時、または設営期間中にそれが予想される場合には危険ですので使用しないでください。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、水が溜まる等の恐れがある上、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。
- 警告** ②使い勝手を良くする為、天幕には軽量で薄手の生地を使用しております。その為、過度の負担がかかる環境での設置や使用方法によりテントの寿命を著しく縮める場合がございますのでご了承ください。

● 用途 ●

- 警告** ①本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。また、簡易目的用とした構造のため、完全な雨除けとしてはご利用いただけません。縫製部分より水が入る可能性がありますのでご了承ください。
- 警告** ②本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。
- 注意** ③本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊したりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。

● 取扱上の注意 ●

- 警告** ①設営時にはテントが水平になるように設置し、必ず「ロープ」と「ベグ」、または別売りの「加重ベース」「スチールプレート」等でテント支柱を固定し、はりつなをしっかりと取り付けてください。また、固定した後も、突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。
- 警告** ②本品を使用の際は、無人で放置しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 警告** ③本品に電源や火気類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。また、天幕の素材には、難燃性のポリエステルを使用しておりますが、破損や火災発生の原因となります。
- 警告** ④ご使用前に、本取扱説明書をご理解いただいた上で、必ず一度組み立てテストを行ってください。その際、付属品の不足、不良等が発見された場合は、お求めになった販売店へお申し付けください。また本テントの使用、保管はお客様にて管理してください。当社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 警告** ⑤設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。
- 警告** ⑥設営・収納作業時には、トラス部分（ジャバラ状の骨組み）、スライド部分、ストッパー部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。
- 警告** ⑦設営・収納作業は安全のため、必ず大人2人で行ってください。また、フレームを設営、撤収する際は負荷が掛かりますので、無理せずゆっくり行ってください。変形や破損する恐れがあります。
- 注意** ⑧本品は、アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指等をはさむと大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。
- 注意** ⑨テントは、たるみがなく「ピン」と張った状態で使用し、天幕に水が溜まらないよう十分に注意してください。天幕に水が溜まると、天幕の寿命を縮める他、フレームが曲がったり、倒壊の危険があります。

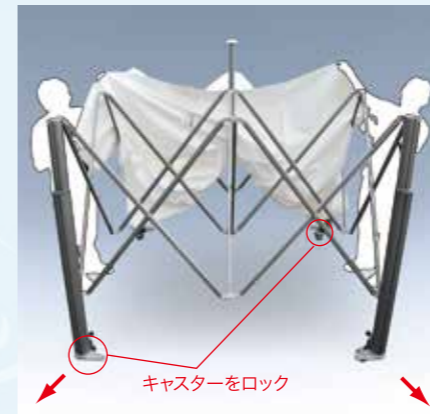
■ 設置場所について

テント設置に必要なスペースは、組立後にフレームの各端から外へさらに1メートルプラスした広さになります（例えば、3x3mV2テントの場合、4x4mのスペースが必要です）。



設営前準備(天幕を取付ける)

※弊社で取付を行っている場合、この作業は不要です。次へ進んで下さい。



1 フレームに天幕がかぶるくらいに展開し、足元のキャスターを対角の2カ所をロックしておきます。天幕を広げ、展開したフレームにかぶせていきます。（この際、天幕の裏表に注意して下さい。）



2 かぶせる際は天幕頂点部分とピークポール（突き上げ棒）の位置が合う様に調整しながらかぶせてください。



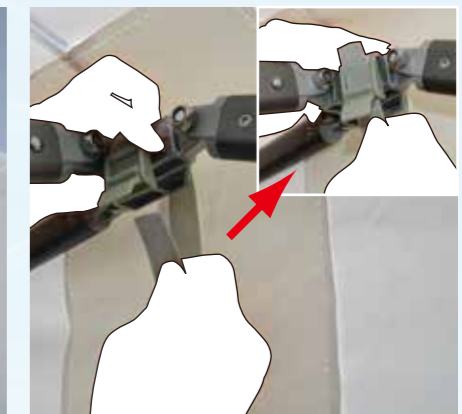
3 全体がかぶれば角を合せ、まんべんなく行き渡っているか確認ください。



4 4m×4m & 5m×5m のみこの作業を行って下さい。キャスターをロックして、フレームを縮まらないようにしてから、一人が天幕の下に入り、ピークポールを伸ばし、Uピンで固定します。



5 天幕の角の部分のハトメとフレーム柱のボルト穴を合せアイボルトで固定していきます。



6 天幕内のクロスフレーム連結部分に付いているベルトで天幕を固定していき、すべて固定出来れば完了です。

STEP 1 フレームを展開する



V2は、部品の組立の必要がなく、ワンタッチで展開できるようになっています。テント展開には作業者が大人2人必要です。また、**2人が同じペースで作業を行って下さい。**

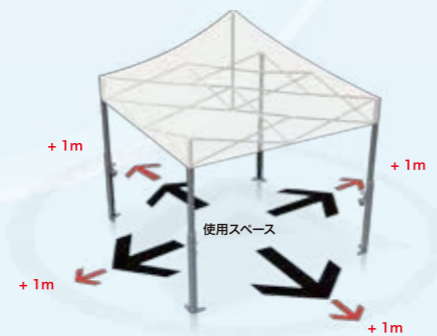
1

本体収納カバーを外します。



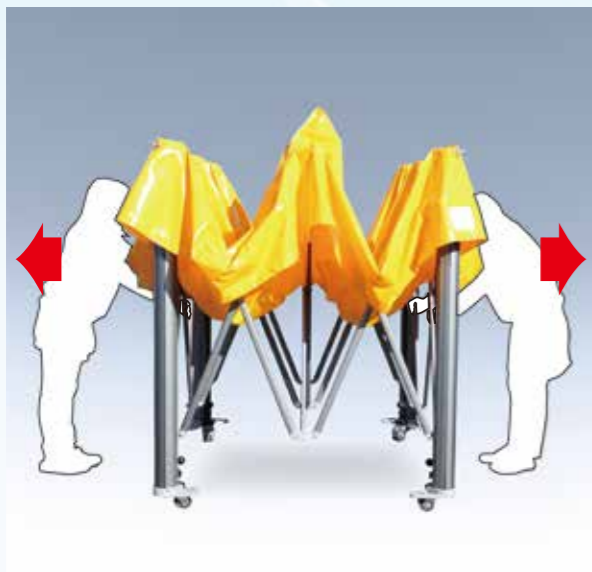
2

キャスターのロックが解除されているかを確認してください。矢印方向が解除です。V2を展開位置の中心に置きます。



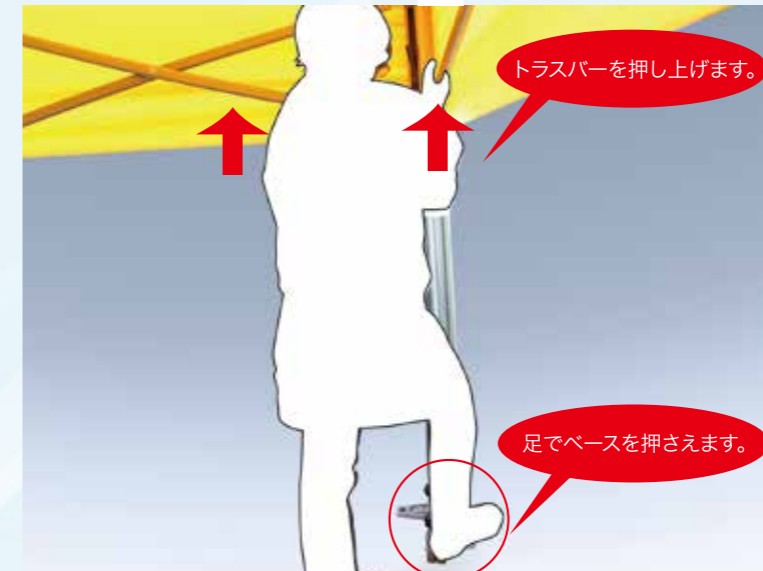
3

2人の作業者はテントをはさんで両方の側に向かい合って立ちます。天幕部に「オープン」と記された部分をつかみ、すばやく後ろへ下がりがりながら、テントを開きます。



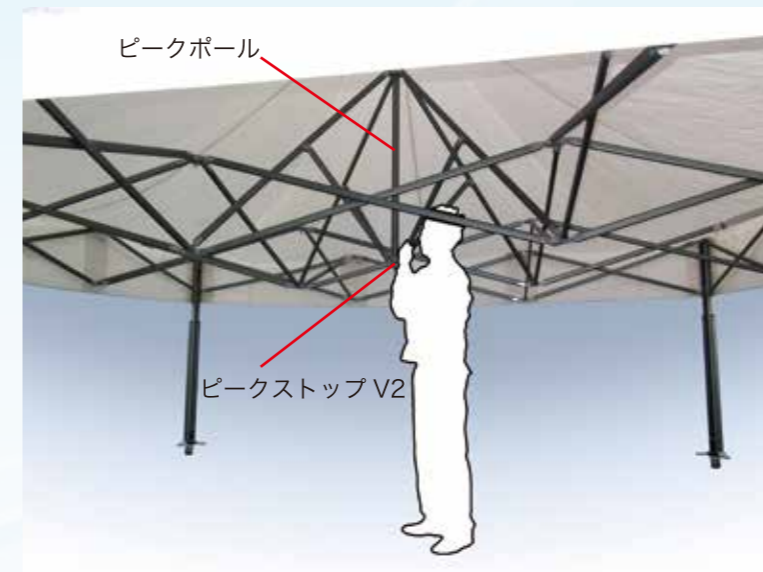
4

テントは今、途中まで展開した状態です。作業者の1人は今いる位置に止まり、もう1人が天幕の下へ移動して、各柱の最上部にスライドシステムを固定していきます。



5

フレームを固定するには、スライドシステムについている2本のトラスバーをつかみ、ベースを足で押さえ、スライドシステムが適切な位置に来るまでそれを押し上げロックします。この作業は、各柱ごとに行います。



補足1

大きいサイズになれば、スライドシステムを押し上げてロックするのに、力が必要な場合がございます。作業する人が、2人以上いる場合は、1人がテントの中に入り、ピークポール下のピークストップV2を、上に押し上げると、簡単にスライドシステムをロックさせる事が可能です。

STEP 2 フレームを立ち上げる



1 キャスターロック装置を押して、キャスターをテント中央へ向けた状態でロックします。



スムーズに上がるコツは、ハンドルを引くタイミングはなるべく2人同時に行ってください。

2 2人の作業者がテントの2本の隣り合う柱のところに つきます。2人同時に、柱の最下部にあるハンドルを引き ます。柱のベースの下に何も置かれていないことを確 認して下さい。
ガス圧ジャッキの力でテントが持ち上がり、ハンドルが ロックされる位置で止まります(ハンドルがロック される位置まで上がらない場合がございます。 その場合は少しだけ手で持ち上げて下さい)。

※3m×4.5m&4m×6mの長方形タイプは短面の柱より、操作してください。
長面
短面



補足1

まれに、油圧の関係で、ハンドルが堅くて引けない場合があります。 その時は持ち上げベルトの短い方をベースに引っ掛け、ベルトを上 に持ち上げながら、ハンドルを引っ張ってください。



警告

ベースの下には何も置かないで下さい。 ガス圧ジャッキシステム使用時に足など が挟まるとケガの恐れがあります。

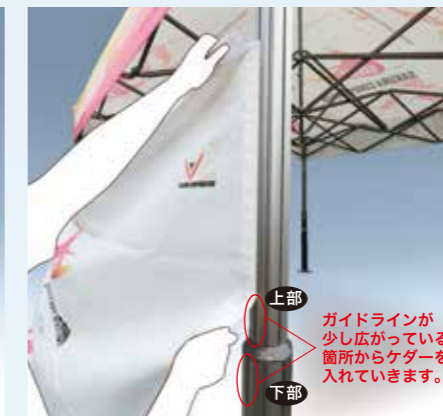


3 ②の作業が完了したら、残る2本の柱についても同じ 作業を行います。

横幕を取付ける(オプション)



1 マジックテープが上にくるようにしながら、横幕をつかみます。マジックテープがついている面が表面となります。



2 もう1人の作業者と一緒に行います。2人同時に、横幕上部両サイドのケダーを柱上部のガイドラインに滑り込ませていきます。



3 横幕上部のマジックテープを天幕下部についているマジックテープにあわせて取付けていきます。



4 もう1人の作業者と一緒に行います。2人同時に、横幕下部両サイドのケダーを柱下部のガイドラインに滑り込ませていきます。



5 完成です。2面、3面など多枚数取り付ける時は同じ作業を、他面で繰り返してください。

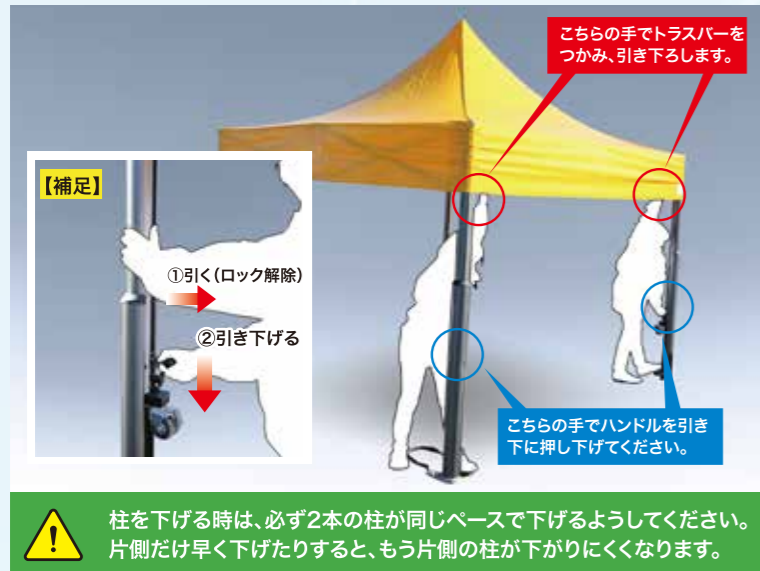
POINT

横幕を取り付ける時は必ず2人で行ってください。また、柱に横幕を取付る際は両サイドの2人が同じペースで取り付けてください。両サイドのケダーを柱に取り付ける際は、フレームの柱が垂直であることをご確認ください。

STEP 3 テントを閉じる



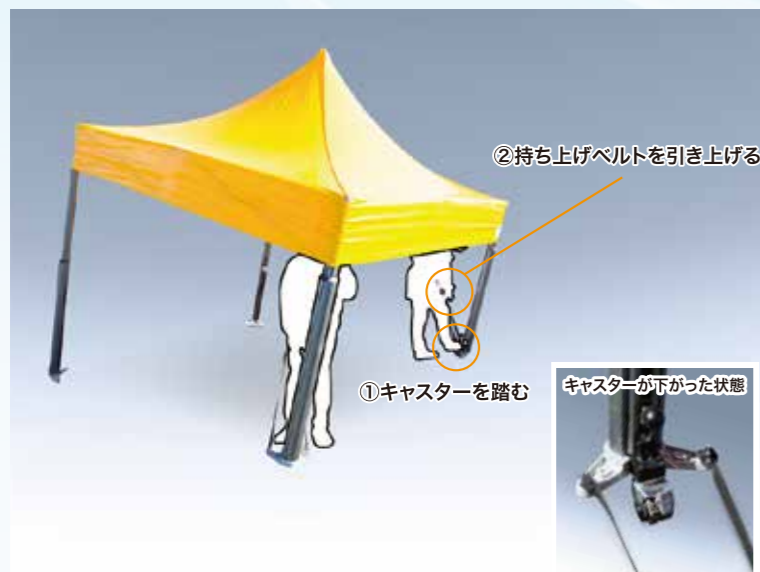
1
フレーム足下のベースに専用の持ち上げベルトを引っかけます。その時、必ず同じ側の柱に取付けてください。



! 柱を下げる時は、必ず2本の柱が同じベースで下げるようしてください。片側だけ早く下げたりすると、もう片側の柱が下がりにくくなります。

2
2人の作業で一緒に行います
①で「持ち上げベルト」をセットした柱の前につき、片手でトラスバーをつかみ、もう一方の手でハンドルを引きます。次に、トラスバーを強く地面に向かって引き下ろします。

【補足】
片手がトラスバーをつかめない場合は、ハンドルを引き、ロックを解除した状態で、そのハンドルを下に向かって下ろしてください。ある程度、柱が下がってきたら、両手でトラスバーをつかんで、下に向かって下ろしてください。

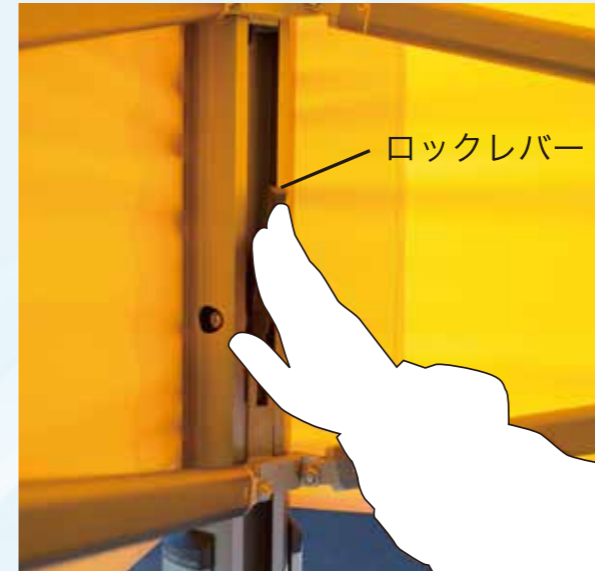


3
同じ側のそれぞれの脚が最も低い位置まで下りてきたら、キャストターを足で押さえながら、①で取り付けた「持ち上げベルト」を手に取り、柱が持ち上がるように強く引き上げます。キャストターは地面につき、柱下部のハンドルが所定の位置にはまります。

4
もう一方の柱で、①～③の作業を繰り返します。



5
キャストターのロックを外し、自由に動くようにします。全ての柱でこれを行います。



6
柱の上部にあるロックレバーを解除します。全ての柱でこれを行います。

注意
最後のロックレバーを解除する際はフレームの内側に立たないでください。最後のロックレバーを解除すると、フレームは瞬間的に閉じるため、フレームの内側にいると体を挟まれる可能性があります。くれぐれもご注意ください。



7
天幕を被せたまま、カバーバックを被せます。カバーバックを被せにくい場合は、フレームをフレーム絞りベルトでフレームを縮めてから被せてください。

加重ベース(シングル用)の取付け



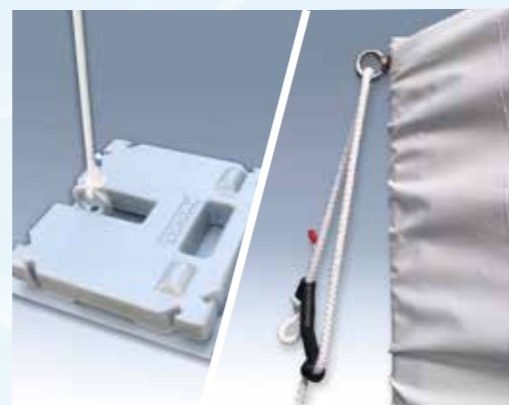
1
フレームのベースに加重ベース(シングル用)を置きます。フレームベースの穴に、加重ベースの凸が合うように置いてください。



2
付属のノブボルトで加重ベース(シングル用)とフレームベースを2カ所で接続します。



3
天候条件、ビューフォート風力階級(15ページ参照)をもとに、テントを安全に安定させるのに必要な数のスチールプレート積み上げます。



4
張り綱をフレーム上部のアイボルトに取り付け、次に加重ベースのリングに取り付けます。最後に張り綱をたるみがなくなるよう張ります。

加重ベース(ダブル用)の取付け



1
フレームのベースに加重ベース(ダブル用)大を置きます。フレームベースの穴に、加重ベースの凸が合うように置いてください。



2
付属のノブボルトで加重ベース(ダブル用)大とフレームベースを2カ所で接続します。



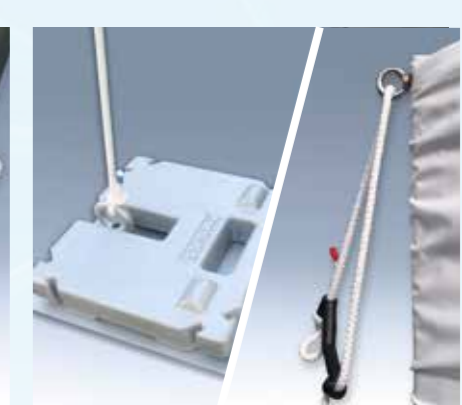
3
フレームベースに加重ベース(ダブル用)小を置きます。フレームベースの穴に、加重ベースの凸が合うように置いてください。



4
付属のノブボルトで加重ベース(ダブル用)小とフレームベースを2カ所で接続します。



5
天候条件、ビューフォート風力階級(15ページ参照)をもとに、テントを安全に安定させるのに必要な数のスチールプレートを積み上げます。



6
張り綱をフレーム上部のアイボルトに取り付け、次に加重ベースのリングに取り付けます。最後に張り綱をたるみがなくなるよう張ります。

杭の設置



- 1 杭をテントの柱から対角線上に1メートル離れたところに置きます。杭は45°の角度に寝かせて地中へ打ち込んで下さい。張り綱をフレームから張り、杭に取り付けます。

ユニバーサルロックの取付け

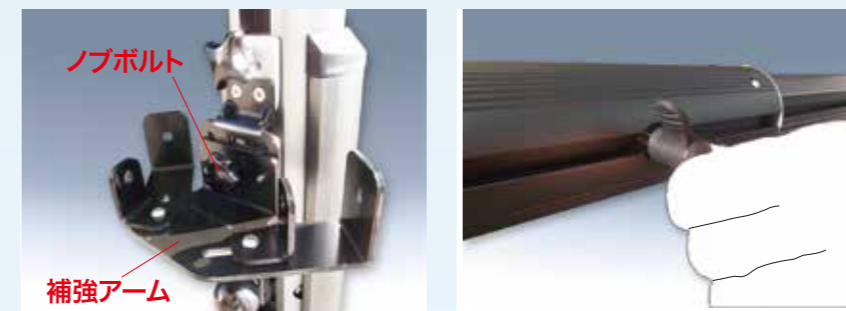


- 1 ユニバーサルロックのノブを始めて緩めます。その後、プレートが右側になるように傾け、柱の溝にはめ込みます。
- 2 プレートが下にくるように、ユニバーサルロックを回し、任意の位置にスライドさせます。
- 3 位置を決めた後、ノブを回してユニバーサルロックを固定します。

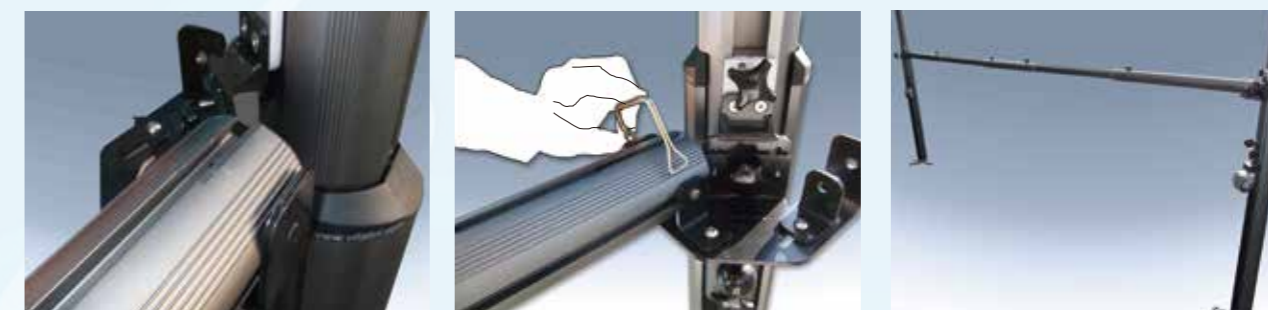
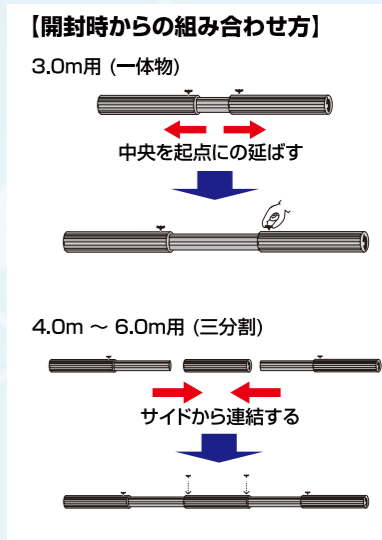
ユニバーサルロックの取外し

- 1 取付け時と反対手順で取り外します。

補強バーの取付け



- 1 ユニバーサルロックにノブボルトを使用して補強アームを取り付けます。
※穴位置がずれている場合は付属の工具で調整ください。
- 2 補強バーの蝶ボルトを緩め、各テントサイズに合わせて伸ばすまたは連結します。
【蝶ネジ数】
3m/2箇所 4m/4箇所 5m/4箇所



- 3 バー両端の穴と補強アームの穴位置を合わせ、先ほど緩めた蝶ボルトを再び固定します。
- 4 両端の合わせた穴に付属のピンを付け固定します。
- 5 完成です。

敷居アームの取付け



- 1 敷居バーの蝶ボルトを緩め、各テントサイズに合わせて伸ばします。
- 2 バー両端の穴とベース部分の穴位置を合わせ、ノブボルトを固定します。
- 3 再び、敷居バーの各蝶ボルトを固定すれば完成です。

APPENDICES

付 録

ビューフォート風力階級

風力階級	名 称	相当風量 (mph)	陸上の様子	必要ウェイトの重量
0	平穩	0~0.2m/s	煙はまっすぐ昇る。	ウェイトは必要ありません。
1	至輕風	0.3~1.5m/s	煙は風向きが分かる程度になびく。	3m×3m 1足に20kg その他サイズ 1足に30kg
2	輕風	1.6~3.3m/s	顔に風を感じる。木の葉が揺れる。	3m×3m 1足に20kg 3m×4.5m & 4m×4m 1足に30kg 5m×5m 1足に60kg
3	軟風	3.4~5.4m/s	木の葉や小枝が揺れる。	3m×3m 1足に30kg その他サイズ 1足に60kg
4	和風	5.5~7.9m/s	砂埃が立ったり、小さなゴミや落ち葉が宙に舞う。	3m×3m 1足に50kg 3m×4.5m 1足に60kg 4m×4m & 5m×5m & 4m×6m 1足に90kg +張り綱(全サイズ)
5	疾風	8.0~10.7m/s	葉のある灌木が揺れはじめる。	3m×3m 1足に60kg 3m×4.5m 1足に90kg 4m×4m & 5m×5m & 4m×6m 1足に120kg +張り綱(全サイズ)
6	雄風	10.8~13.8m/s	木の大枝が揺れ、傘をさしにくくなる。電線が唸る。	3m×3m 1足に60kg 3m×4.5m 1足に90kg 4m×4m 1足に120kg 5m×5m & 4m×6m 1足に150kg +張り綱(全サイズ)
7	強風	13.9~17.1m/s	大きな木の全体が揺れ、風に向かって歩きにくい。	3m×3m 1足に90kg 3m×4.5m 1足に120kg 4m×4m 1足に150kg 5m×5m & 4m×6m 1足に180kg +張り綱(全サイズ)
8	疾強風	17.2~20.7m/s	小枝が折れる。風に向かって歩けない。	3m×3m 1足に90kg 3m×4.5m 1足に120kg 4m×4m 1足に150kg 5m×5m 1足に240kg 4m×6m 1足に210kg +張り綱(全サイズ)

※風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍から3倍以上になる事があります。上記の風速はあくまでも目安としてお考え下さい。